

R8. 1.21 研修参加者記入アンケートのまとめ

A: 本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. 10の姿・5領域を深く捉えることの重要性

- ・10の姿・5領域をざっくりと捉えるのではなく、どの部分が濃く育っているのか焦点を置いて保育することが大切だと感じた。
- ・自立と自立心の違いなど、言葉の意味を深く捉えることで保育の質が変わることに気付いた。

2. 時期によって変わる「育てたい姿」への理解

- ・同じ活動でも、年齢や発達段階によって目的が変わることを学び、時期に応じた視点をもつことの大切さを再認識した。
- ・ただ遊びを楽しむだけではなく、その時期に育てたい力を意識する必要があると学んだ。

3. 子どもの「ときめき・気づき・発見」を引き出す保育の価値

- ・子どもの「やってみたい」「おもしろい」という感情が学びにつながることを改めて知った。
- ・触れて・確かめて・考えて・また考え直すという過程が、子どもの新しい発想や学びを生むという話が印象的だった。

4. 10の姿を意識した保育計画・環境構成の必要性

- ・10の姿を意識して保育計画を立てることで、子どもの気づきや発見につながる環境づくりができると感じた。
- ・ドキュメンテーションを作成することは「この子のときめきは何か？」と考え、遊びの意味をより深く理解する助けになると気付いた。

5. 小学校への接続で大切な伝え方と理解のポイント

- ・こども園での育ちを、10の姿の視点で具体的に小学校へ伝えることの重要性を学んだ。
- ・園で行っている「こどもまんなか保育」の内容を説明し伝えることが、小学校との連続した学びを支えていると知った。

B: 本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 子ども主体・こどもまんなか保育の実践

- ・子どもの「やってみたい」「好き」「得意」を大切にし、子どもが主体的に遊びを展開できるような環境作りや声かけを心がけたい。
- ・子ども主体・こどもまんなか保育を理想で終わらず、明日から具体的に実践できるよう、日々の保育を振り返りながら取り組んでいきたい。

2. 遊びの環境作りと育っていく姿の見守り

- ・遊びのやり取りや繰り返しの体験を大切にし、子どもたちの学びや育ちが自然に深まる環境を整えていきたい。
- ・10の姿を「達成させるもの」ではなく、「育っていく過程を支える視点」として子どもたちの姿を丁寧に見守りたい。

3. 10の姿を意識した保育計画と学びの視点の定着

- ・育ってほしい姿を明確にしながら、10の姿を意識した計画作りに取り組みたい。
- ・子どものトキメキ・気づき・ひらめきを逃さず遊びを展開することで、深い学びにつなげたい。

4. 園全体での話し合い・保育の見直し

- ・日々の遊びや保育について、職員同士で話し合いながら「こどもまんなか」の姿勢ができていくか確認したい。
- ・自分自身の保育を見直すとともに、子どもの権利・思い・願いを尊重する視点を園全体で共有していきたい。

5. 小学校との接続を意識した関わりの強化

- ・子どもが小学校で安心して生活できるよう、こども園での学びを小学校へ丁寧に伝えられる保育を意識したい。
- ・子ども一人一人の思いや経験が小学校でも生かせるよう、接続のあり方を見直し、必要な情報を適切に伝えていきたい。